

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	周産期メンタルヘルスにおける臨床背景・診断・治療・経過に関する後方視的調査研究
当院の研究責任者 (所属)	高江洲義和（大学院医学研究科精神病態医学講座）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	周産期メンタルヘルスは、妊産婦の自殺を巡る問題により国を挙げて対策が進められている。また、精神科領域では妊娠前からの心理教育であるプレコンセプションケアの重要性が認知されつつある。当院は周産期メンタルヘルスの特に重症な患者が多く受診される。診療録の後方視的検討を行うことで、診断や紹介元医療機関、前医での治療内容、地域の支援者の存在などが治療成績や予後に与える影響を明らかにすることを目的とする。
研究実施期間	研究機関の長の許可日（2024/2/6）～2024 年 11 月 30 日
調査データ(該当期間)	2017 年 1 月から 2023 年 10 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま 2017 年 1 月 1 日から 2023 年 10 月までの期間に琉球大学病院精神科神経科を受診した周産期患者を診療録から抽出する。調査は診療録のみから行われ、対象患者の臨床背景や診断、治療反応やその後の経過・帰結を記録し、集団データとしての統計学的解析を行う。 ●利用する試料・情報 診療録より、下記項目を抽出する 生年月、職業、最終学歴、配偶者の有無、支援者の有無、喫煙歴、飲酒歴、受診順、出産時年齢、出産週数、児の出生体重、児の身体的転機、児の入院理由、既往妊娠回数、既往出産回数、エジンバラ産後うつ病質問票結果、児の社会的転機、当科受診経路、紹介理由、精神科診断、ICDコード、希死念慮、自殺企図行動、自殺企図行動の時期、自殺企図妊娠週数、薬物療法への希望、紹介元産科、精神科初診日、通院元精神科、紹介元精神科受診時妊娠週数、前医における薬物療法、前医妊娠前後の薬物療法の変化、当科初診日、当科受診時妊娠週数、当院における薬物療法、当院妊娠前後の薬物療法の変化、当院出産前後の薬物療法の変化、当院出産後薬物療法の変化、プレコンセプションケアの有無、当院出産目的の入院中の介入の必要性、妊娠関連の精神科入院、当科入院日数、

	当科入院時 GAF、当科退院時 GAF、終診日、出産からの終診までの日数、終診時転機、ハイリスク妊産婦連絡票の提出の有無、地域の介入、児相の介入
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
試料・情報の二次利用	なし
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化する。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いない。また、同意の範囲外において情報の利用を行わない。 ・ 保管期間：本研究において採取したデータは、少なくとも本研究の終了報告から 5 年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過したいずれか遅い日までの期間保管する。対応表を保管する場合も同期間、保管する。 ・ 保管方法：紙媒体は精神科神経科医局の施錠できる棚に保管し、データは精神科神経科医局のアクセス権が限られたパソコン内で適切に保管する。 ・ 廃棄方法：紙媒体はシュレッダー、データは復元できないよう方法で完全に削除し、個人情報に十分注意して行う。対象者及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、対象患者に関するデータはすみやかに廃棄する(ただし、解析終了後はデータの削除は不可能とする)。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に係る研究経費はございません。
お問い合わせ先	電話：098-895-1157 担当者：石橋孝勇（大学院医学研究科精神病態医学講座）
備考	